

時代の生みたる

玉名実践女塾の創立

多年中等教職に在り、女學校長の経験ある、新穂義邦氏は来四月より玉名郡彌富村岩崎原に題號の女學校を開き、夫人登免子女史専ら教授に當り、外に助手として女子職業學校卒業生一人を置くと、新穂登免子女史は、本縣女子師範を初めに各地の學校に教鞭を執り、玉名高等女學校にも、創立より五年間奉職し、今は阿蘇北部高等女學校に在職中なるが、来る三月限辭職すべしと、同女子は國、漢、數にも通じ、家事、裁縫、作法等に堪能に又茶道、生花は共に免許皆傳、生花は池の坊龍生派にして、熊本縣教頭職の格を有すと

(『岱南新報』

大正十四年三月一日)

〈※一九二五年〉

時代の生みたる

玉名実践女塾の創立

多年中等教職に在り、女學校長の経験ある、新穂義邦氏は来四月より玉名郡彌富村岩崎原に題號の女學校を開き、夫人登免子女史専ら教授に當り、外に助手として女子職業學校卒業生一人を置くと、新穂登免子女史は、本縣女子師範を初めに各地の學校に教鞭を執り、玉名高等女學校にも、創立より五年間奉職し、今は阿蘇北部高等女學校に在職中なるが、来る三月限辭職すべしと、同女は國、漢、數にも通じ、家事、裁縫、作法等に堪能に又茶道、生花は共に免許皆傳、生花は池の坊龍生派にして、熊本縣教頭職の格を有すと

(『岱南新報』

大正十四年三月一日)

〈注〉大正十四年は、一九二五年。旧漢字は、新漢字に直す。一行の文字数は同じ。